

第23回 一関地区広域行政組合
一般廃棄物処理施設整備検討委員会
次 第

日時 令和3年11月24日（水）

午後1時30分～

場所 一関市役所3階 特別会議室

1 開 会

2 協 議

- (1) 余熱活用について
- (2) ごみ処理に関する基本方針について（調整段階のため、資料は非公表）
- (3) その他

3 そ の 他

4 閉 会

余熱活用について

1 施設視察（健康増進、農業利用）

(1) スポパーク松森（仙台市泉区）…健康増進施設

- ① 日時：令和3年10月7日(木) 午後2時30分～3時40分
- ② 主な内容
 - ・ 温水プール、スポーツジム、スタジオ、温浴施設を備えている。
 - ・ プールは25mが10コースあり、うち2コースはウォーキング専用となっている。ウォーターライダーは春夏のみ稼働。
 - ・ 清掃工場からは130℃程度の高温水が送られる。熱交換によりプールや温浴施設に熱供給している。
 - ・ 運営はコナミスポーツで行っており、スタッフは約40人。常時8～10人が勤務している。（その他、清掃業者が入っている。）
 - ・ 全国転勤の社員は3人で、その他はほとんど地元採用である。

(2) 築館クリーンセンター（栗原市築館）…農業利用

- ① 日時：令和3年10月27日(水) 午後2時20分～3時30分
- ② 主な内容
 - ・ 廃棄物処理業とは別にイチゴ栽培、ふぐ養殖など別事業を行っていた。
 - ・ これらへ燃料を使うボイラーによる熱供給を行っていたが、H28に 焼却炉を新設することとなったことから、焼却炉からの熱供給に変えた。
 - ・ 現在はシイタケ栽培やレタスなどの葉物の栽培に熱供給している。
 - ・ シイタケは当社で栽培を行っているのではなく、当社が設備を貸して法人が利用。
 - ・ 葉物の栽培は障がい福祉事業所が行い、障がい者の方々が作業に従事。
 - ・ 現在、19棟のハウスを増設中で、栽培品目はコーヒーを予定。
 - ・ 苗木を植えるところまで当社が行い、栽培は福祉事業所が行うことを想定。
 - ・ 余熱利用を事業として利益を得ようとすることは困難。地域と密接な関係を築くため必要なものと考えている。

2 周辺自治会説明会での意見等

- ・ 11月20日(土)、周辺自治会説明会を開催。（会場：弥栄市民センター平沢分館、参加者：21名）
- ・ 余熱活用の検討状況について説明し、意見聴取。

【主な意見等】

- ・ エネルギー回収率はどの程度を見込んでいるのか。
- 18%を目標としている。

(余熱活用策に関する意見等はなかった。)

3 余熱（電気、温水）活用案の当面の検討スケジュール（案）

- (1) ワーキンググループ（一関市、平泉町の職員）での検討・提案
(令和3年4月～8月)
- (2) 提案の取扱いについて、施設整備検討委員会で検討、現地視察
(令和3年9月～10月)
- (3) 周辺自治会説明会で検討状況を説明、意見聴取
(令和3年11月20日)
- (4) 施設整備検討委員会で方向性検討
(令和3年11月～令和4年2月)
- (5) 住民説明会、周辺自治会説明会で検討状況を説明、意見聴取
(令和4年3月)
- (6) 説明会での意見を反映して余熱（電気、温水）の活用方法案を取りまとめ
(令和4年4月以降)

4 提案の概要と取組の方向性（案）

	防災機能	農業利用	健康増進	工場誘致
提案の概要	- 避難スペースの確保 - 災害時に風呂、シャワーを開放 - 組立式風呂の設置スペースを確保	- 実証ハウスの整備 - 温水ハウスの整備 - 新規農業者のトレーニングハウスの整備	- プール、スポーツジム、スタジオなどの整備 - 温浴設備の整備 - 子供の遊び場の整備	紙おむつ再生工場の誘致
取組の方向性	可能な限り、施設本体に防災機能を取り入れる。	条件を示して事業希望者の有無を調査する。	条件を示して事業希望者の有無を調査する。	条件を示して事業希望者の有無を調査する。
敷地の使用	○	×	○	×
余熱供給（年間）	280日	280日	280日	280日
温水供給	○無料	○無料	○無料	○無料
電力供給	○無料	○有料	○有料	○有料
施設整備	公設	民設	公設	民設
事業運営	—	民営	民営	民営